

報道関係各位

2025年10月27日

「人と素材と技術の力で『感動体験』を。」証券コード：6167

新合金【サステロイ STN30】を開発、 「オートモーティブ ワールド 名古屋」に初出展

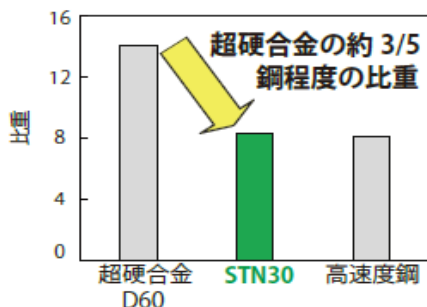
～鋼程度の比重、超硬合金と同等・鋼の4倍の耐摩耗性を実現
地政学的リスクが懸念されるレアメタルの使用量を大幅削減～

超硬合金製耐摩耗工具・金型製造で国内トップシェア、富士ダイス株式会社は、鋼程度の比重、超硬合金と同等・鋼の4倍の耐摩耗性を実現し、地政学的リスクが懸念されるレアメタルの使用量を大幅削減した新合金【サステロイ STN30】を開発しました。10月29日(水)～10月31日(金)にポートメッセなごやにて開催される「第8回【名古屋】オートモーティブ ワールド -クルマの先端技術展」にて初出展いたします。

◆新合金【サステロイ STN30】の特長◆

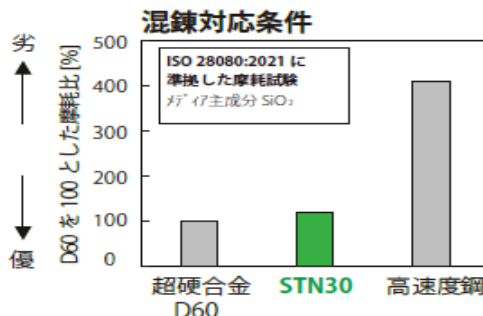
1. 軽量

超硬合金の約 3/5、鋼程度の比重



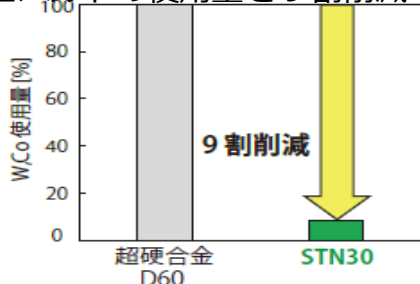
2. 高耐摩耗性

超硬合金に近い耐摩耗性を実現



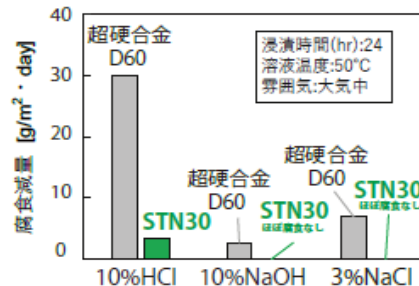
3. 省資源

地政学的リスクが懸念されるタングステン・コバルトの使用量を 9 割削減



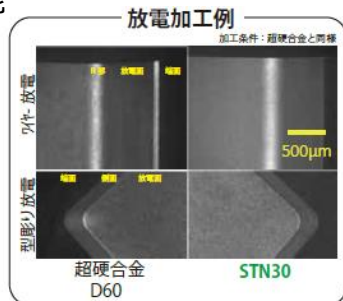
4. 高耐食性

一般超硬合金より腐食しにくい



5. 優れた加工性

研削加工性は超硬合金と同等、放電加工が可能



6. 磁性を有するため磁力選別が可能

◆【サステロイ STN30】の用途例◆

【サステロイ STN30】は、軽量でありながら、超合金と同等の耐摩耗性を実現しています。こうした特長を活かし、耐摩耗性が求められる一方で重量のある超合金の使用は難しい分野（回転工具や混練工具など）での利用が見込まれています。

当社は、地政学的リスクが懸念されるタングステンとコバルトを極力減らした合金を作るというコンセプトで、2023年3月に【サステロイ ST60】を開発、販売しましたが、今回開発した【サステロイ STN30】は材料設計を見直しニオブカーバイドを主成分としたことで、より耐摩耗性を向上させました。

◆【サステロイ STN30】 出展予定 展示会概要◆

名称：第8回「名古屋」オートモーティブワールド -クルマの先端技術展
会期：2025年10月29日(水)～10月31日(金)
会場：ポートメッセなごや

当社小間番号：N13-27

入場料：無料（公式サイトにて来場登録が必要）

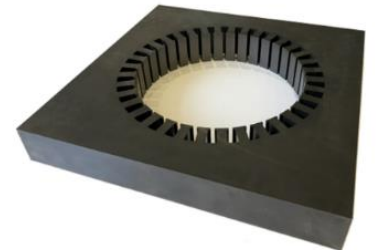
公式サイト：<https://www.automotiveworld.jp/nagoya/ja-jp.html>

◆その他の出展品紹介◆

モーターコア金型用超合金

【フジロイ VG48】

耐摩耗性と靱性のバランスを高いレベルで実現し、打ち抜き時の高負荷にも耐えられるモーターコア金型に最適な超合金です。
合金組織の最適化により、金型使用時の粒子脱落（摩耗）を低減いたします。



【フジロイ VG51】

耐摩耗性や靱性に加え、耐食性にも優れます。
長時間の水切りワイヤー放電加工後も高品質な表面粗さを実現し、金型の加工コスト削減と長寿命化に貢献いたします。

電池関連金型・工具

超合金に限らず、用途に応じて最適な材料を提案いたします。
また、電池の金属ケースを作るための金型の製作や電池の原料となる粉末を製造するための金型・工具の製作にも対応しています。



◆製品に関するお問い合わせ・資料ダウンロード◆

当社コーポレートサイト（<https://www.fujidie.co.jp/news/196>）より、上記製品の資料をダウンロードいただけます。

当社は、創業 76 年、超硬合金製工具・金型メーカーです。素材開発力・精密加工技術に強みを持ち、国内のみならず海外 2 か国に生産拠点を展開し、国内トップシェアを誇っています。販売は直販体制を取り、お客様の個別のニーズに応じて、原料粉末の調製から焼結・機械加工・製品検査まで一貫生産体制で、幅広い業種のお客様とお取引させていただいています。詳細はこちら (<https://www.fujidie.co.jp/>) をご覧ください。

展示会では、当社の製品について詳しくご説明いたします。ブースにて、皆さまのご来場をお待ちしております。

【本件に関するお問い合わせ先】

富士ダイス株式会社

営業本部 営業推進部 営業企画課

TEL : 03-3759-7124

E-Mail : sales.div@fujidie.co.jp